

学士院賞に9人 松村・豊島両氏 恩賜賞も受賞

日本学士院は12日、優秀な業績を上げた研究者に贈る日本学士院賞に、中世フランス語の辞書を編さんした松村剛東大教授(58)や、生物の細胞内の成分濃度を調整するタンパク質の構造を明らかにした豊島近東大教授(63)ら9人を選んだと発表した。2人には恩賜賞も贈る。生物種の保全に関わる研究者に隔年で贈る日本学士院エシジニア公賞には、化石の発見などで人類の起源と進化の解明を進めた諏訪元東大教授(63)を選んだ。受賞者と理由は次の通り。(敬称略)

【日本学士院賞・恩賜賞】
松村 剛(まつむら・たけし) 東大教授、中世フランス語。中世フランス語の辞書を独力で編さん。58歳。



豊島 近(とよしま・ちかし) 東大教授、生物物理学。細胞のイオンポンプタンパク質の構造を解明。63歳。



【日本学士院賞】
三佐川 亮宏(みさがわ・あきひろ) 東海大教授、ドイツ史。史料からドイツ史の開始期を特定。57歳。



楠岡 成雄(くすおか・しげお) 東大名誉教授、数学。確率解析と数理ファイナンスの研究。64歳。



丸岡 啓二(まるおか・けいじ) 京大教授、有機合成化学。アミノ酸の大量合成に有用な触媒を確立。64歳。



相田 卓三(あいだ・たけぞう) 理学部化学研究所副センター長、高分子化学。強力なゲル状新素材を開発。61歳。



堀江 武(ほりえ・たけし) 京大名誉教授、地球温暖化でアジアの水稲生産に及ぶ影響を解析。75歳。



長野 哲雄(ながの・てつお) 東大名誉教授、薬学。ケミカルバイオロジー。光の発光強度の制御。68歳。



清野 進(せいの・すすむ) 神戸大特命教授、代謝学。血糖を調整するインスリン分泌の仕組みを解明。69歳。



諏訪 元(すわ・げん) 東大教授、自然人類学。初期人類の化石発見など人類の起源と進化の研究。63歳。



【日本学士院エシジニア公賞】
諏訪 元(すわ・げん) 東大教授、自然人類学。初期人類の化石発見など人類の起源と進化の研究。63歳。